

原子力防災対策について（その3）

◆原子力防災ガイドブック◆

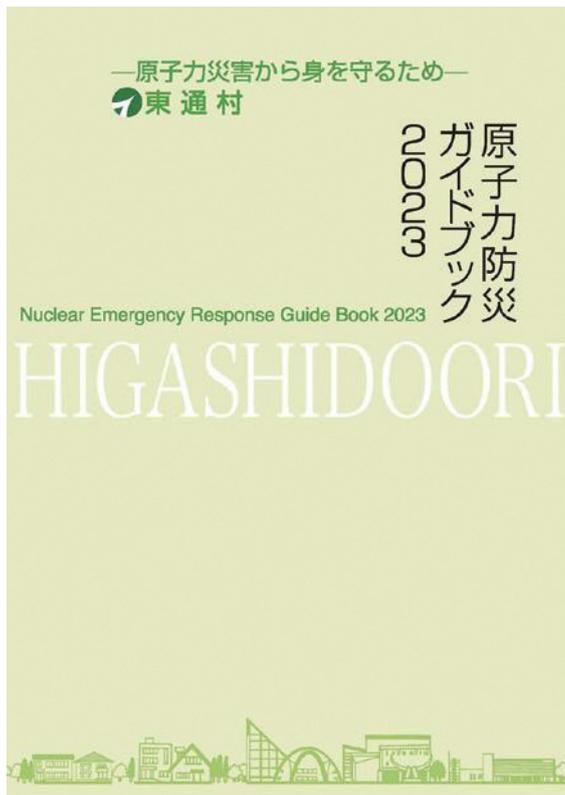
○東通村避難計画（原子力編）の修正にあわせ、村では原子力防災ガイドブックを修正し、先月の広報5月号配布時に村内へ配布しました。

○原子力防災ガイドブックには原子力発電所で事故が発生した場合の対応や避難経路、広域避難先施設（青森市）等が記載されておりますので必ず内容をご確認ください。

※下記ホームページからも
ご覧になれます。

「東通村と原子力」

(<http://www.atom-higashidoori.jp/>)



〈問合せ先〉 (代表) 27-2111
原子力対策課 ☎ (直通) 33-2268

今日の『ひがしどおり小話』

No.3 尻屋「崎」？ 尻屋「埼」？

「尻屋崎」と「尻屋埼」、どちらが正解か分かりますか？

国土地理院の地図は「崎」、海上保安庁の海図は「埼」を用いています。

本来の意味として「埼」は、陸地が水部へ突出したところを表現し「崎」は山の様子のできわしいことを言います。

海上保安庁では、海図の使用者である航海者が、地名から地形を判断できるようにするため、このような使い分けをしております（「尻屋」が地名を表現し、「埼」が地形を表現）。

国土地理院では、前身の陸軍陸地測量部が「崎」を使用していた経緯があるので、引き続き使用しています。よって地名は「尻屋崎」、灯台は船舶が安全に航行するためのサポートが目的ですので「尻屋埼」と表記しています。白糠灯台についても同様で、地名は「物見崎」、灯台は「物見埼」と表記しています。なんとも奥が深いですね。

出典：海上保安庁海洋情報部HP



灯台は海の情報だから尻屋埼灯台、「埼」の漢字を使うんだね！

